

静岡県立浜松湖北高等学校
令和4年度 第4回学校運営協議会 議事録（概要）

- 1 開催日時 令和5年2月9日（木）9：00～11：00
- 2 開催場所 本校会議室
- 3 議事の概要（次第）

(1) 校長挨拶

2月11日（土）に静岡県ジュニアアスリート発掘・育成事業ビクトリークリニック～県トップレベルのバレーボールを体験しよう！～が行われる。今年度の男子バレーボール部の活躍が認められ、静岡県スポーツ協会から本校に依頼が来たものである。対象は小学3年生から6年生、定員は50名に対して、定員を超える54名の応募があり、大変ありがたく、期待されていると感じている。

(2) 議事

ア 令和4年度学校経営報告書自己評価（案）及び学校関係者評価について

（副校長）

(3) 本校の近況（副校長）

ア 天浜線ラッピング

(4) 連絡事項他

質問・意見

ア 令和4年度学校経営報告書自己評価（案）及び学校関係者評価について

【基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導の充実】

・工業系の授業を参観した際、ノギスとマイクロメーターの使い方を教えていた。生徒9名と少人数の集団で、大変分かりやすく教えていると感じた。一方、教室での授業を廊下から見たが、生徒が授業を理解しているのかは、分からなかった。

・保護者の自由記述に、国語の中間テストや期末テストにおいて、学年全体で統一すべきだと思うとの意見があるが、どういうことか。

→本校では、普通科、産業マネジメント科3科の計4科があり、単位数も違うので、学年全体で統一したテストはできない。しかし、成績は、テスト結果のみでなく、いくつかの観点からつけており、特に1年生については3観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」からつけている。

【基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成】

・成果目標に「規則正しい生活を送っている」と答える生徒85%以上とあるが、生活習慣を身につけさせるのは学校ではなく、家庭だと思う。

・「挨拶ができる」と答えた生徒91%に対して、保護者の回答は76%である。この差はどういうことか。

→親に対して、会話や挨拶をしないことが考えられる。今年度から着任しているが、本校生徒は、他校と比べても元気よく挨拶ができていると感じている。

- ・1か年皆勤率1年39%、2年49%となっており、学年の半分の生徒が皆勤している。私は元高校教員だが、私の経験からすると、すばらしい数字だと思う。
- ・「交通ルールを守っている」生徒98%となっているが、ときどき並走やイヤホン等をしているのを見かける。評価Aとなっているがどうかと思う。
- ・自動車部品の製造にかかわっている関係で、社員には交通ルールを守る意識付けをしている。高校でも常に意識づけをお願いしたい。

【望ましい勤労観・職業観の育成と主体的に自己表現を図る力の育成】

- ・就職担当をしているが、高校生の就職率は良いと思う。しかし、なかには志望動機が弱く、とりあえず就職してみたという感じで入社してきて、退職してしまうことがある。ミスマッチを起こさないよう就職指導や企業見学等の工夫をお願いしたい。

→昨年度まで1人1社までとしていた企業訪問を、2社まで見学できることにした。校内選考の際、第1希望からもれた生徒が第2希望にまわることがあったが、問題なく、円滑に希望先を決めることができたと思う。

【学校行事と部活動の活性化】

- ・「学校行事が楽しい」と答える生徒が90%以上となっており、素晴らしい成果だと思う。
- ・「部活動が充実している」と答えていない生徒が16%いるが、どのようなことが考えられるか。

→本校では、生徒全員が3年間部活動に所属することになっている。入部してみたが、やる気をなくしたと思っている生徒がいるのではないかと考える。

- ・高校での外部指導者の活用は進んでいるのか。

→本校でも、非常勤講師の先生を1人部活動指導員として女子テニス部に入れている。しかし、雇用条件を考えた場合、該当する人を探すのは難しく、なかなか活用は進んでいかないと思われる。

【安心・安全で活気ある学校生活を送るための教育環境の整備】

- ・防災訓練を通じて、生徒は何を学んだか明らかにした方が良いのではないか。

→本校では、1年生対象に地域の防災に携わっている方に講義をしてもらっている。この講義を受けることでジュニア防災士の資格を取得している。また、本校のこれまでの取組を「地域の災害ボランティアコーディネーターと連携した地域防災について」と題した論文にまとめ、2022年度静岡教弘教育論文に応募したところ、奨励賞を受賞した。

- ・通学中に大地震が発生した場合の対応はしているのか。

→第2回学校運営協議会資料4をご覧ください。「登校にあたっては、安全第一とし、危険な場所には近づかない。」「公共交通機関を利用している場合には、事業者等の指示に従う。」「安全に登校できないことが確認できた場合は、安全ができるまで学校待機。」

となっている。このことについては、改めて生徒に周知していく。

・「学校は生徒の安全・安心に配慮している」と回答した生徒が84%であり、16%の生徒が回答していない。いじめ等も含め、これらの生徒の対応をお願いしたい。

→いじめアンケート年2回、体罰アンケート等を行って、訴えがあれば、生徒から事情を聞き対応をしている。また、本校では教育相談室が充実しており、生徒が相談しやすい体制を作っている。

・授業参観で校舎内をまわった際、施設、廊下等はきれいだったが、教室内の生徒の机の上が整理されていないところがあった。教室内の整理整頓をお願いしたい。

【家庭・地域社会との連携した、開かれた学校づくりの推進】

・農業科の生徒が渋川つつじ公園の整備作業を地元の方と一緒に取り組んでくれており、大変助かっている。

・企業見学や就職した先輩方の生の声が聴きたい場合などオンラインミーティングでの対応が可能であるので、ぜひ検討いただきたい。

→今年度、実際に企業見学をオンラインミーティングで行ったこともあるので、言っていただければ対応する。

・湖北高校のホームページは、盛り込む項目が多い、写真が小さい等、見にくいところがあり、見やすい工夫をお願いしたい。

→ホームページについては、見やすくする工夫は必要かと思うが、ホームページの容量等の問題や個人保護の観点から写真については大きくできない。

・かつてホームページの担当していた。ホームページの更新は手間がかかる。先生方は、授業の合間にしているので、あまり無理をしなくても良いと思う。また、SNSのリンクをホームページに張り付けた方が良いとの意見があったが、内容のチェックが必要となる。個人が作ったものが、学校の責任とならないよう注意しなければならない。

【教職員の資質・能力の向上】

・特になし

【教職員の業務改善】

・特になし

(3) 本校の近況（副校長）

・天竜浜名湖鉄道が、大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて募集した「徳川家康に関するイラスト」に美術部生徒が応募した結果、列車のヘッドマークやポスター、切符のデザインに採用された。

4 令和4年度 学校運営協議会委員（50音順）

名前	職業等	備考
うちやま じゅんき 内山 淳基	公務員（消防署）	令和3年度PTA副会長であり、保護者の代表として意見をいただける。

しょうじ 荘司 哲	奥浜名湖観光協会 事務局長	地域活性化のために幅広く活動しており、本校の湖北MAGIC の理念である地域貢献活動に対して貴重な助言をいただける。
すずき 鈴木 雅之	(有)三和畜産 とんきい	令和3年度PTA 会長であり、保護者の代表として意見をいただける。
たかぎ 高木 信哉	天竜浜名湖鉄道 営業課長	本校と花のリレープロジェクト、金指駅イルミネーション活動で連携して行っている企業で、地域貢献の観点から助言を得られる。
はるな 春名 季和	(株)スズキ部品製造 管理部管理課長	本校生徒が就職している地元企業において、人事等を担当している。キャリア教育や地元企業との連携等について適切な助言をいただくことができる。
もりわき 森脇 一郎	常葉大学 浜松キャンパス 経営学部准教授	本校生徒の志望者が増加している地元大学に勤務し、本校の教育活動や高大連携について、生徒の実態を踏まえた適切で幅広い助言が得られる。
やまむら 山村 行弘	金指地区自治会 連合会会長	本校が立地する地区の連合自治会長として、本校と地域の連携を深めるために御尽力している方であり、地域代表としての適切で幅広い助言が得られる。

5 年間計画（年間4回・各2時間程度）

回	予定	主な内容
第1回	6月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営計画の承認 校内見学 ※6/3(金)湖北祭
第2回	11月2日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告① 授業見学
第3回	1月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告② ※1/20(金)生徒研究発表会
第4回	2月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価・関係者評価